

議案第37号

葛飾区国民健康保険条例の一部を改正する条例

上記の議案を提出する。

令和4年3月30日

提出者 葛飾区長 青木克徳

(提案理由)

結核医療給付金の支給要件を改めるほか、所要の改正をする必要があるため、本案を提出いたします。

葛飾区国民健康保険条例の一部を改正する条例

葛飾区国民健康保険条例（昭和34年葛飾区条例第13号）の一部を次のように改正する。

第12条第1項各号中「20歳」を「18歳」に改める。

第14条の3中「第19条の2」の次に「及び第19条の4」を加え、同条第1号ウ中「法第81条の2第4項」を「法第81条の2第5項」に改め、同号エ中「法第81条の2第9項第2号」を「法第81条の2第10項第2号」に改め、同条第2号エ中「第72条の3第1項」の次に「及び第72条の3の2第1項」を加える。

第15条の4第1号中「100分の7.13」を「100分の7.16」に改め、同条第2号中「3万8,800円」を「4万2,100円」に改める。

第15条の8中「及び第19条の2」を「、第19条の2及び第19条の4」に、「63万円」を「65万円」に改める。

第15条の9中「第19条の2」の次に「及び第19条の4」を加え、同条第2号イ中「第72条の3第1項」の次に「及び第72条の3の2第1項」を加える。

第15条の12第1号中「100分の2.41」を「100分の2.28」に、「100分の52」を「100分の53」に改め、同条第2号中「100分の48」を「100分の47」に改める。

第15条の16中「及び第19条の2」を「、第19条の2及び第19条の4」に、「19万円」を「20万円」に改める。

第16条の4第1号中「100分の2.03」を「100分の2.29」に、「100分の48」を「100分の52」に改め、同条第2号中「1万7,000円」を「1万6,600円」に、「100分の52」を「100

分の48」に改める。

第19条中「定める額」の次に「若しくは第19条の4各号に定める額」を加える。

第19条の2の見出し中「保険料」を「低所得者の保険料」に改め、同条中「63万円」を「65万円」に、「19万円」を「20万円」に改め、同条第1号ア中「2万7,160円」を「2万9,470円」に改め、同号ウ中「1万1,900円」を「1万1,620円」に改め、同条第2号ア中「1万9,400円」を「2万1,050円」に改め、同号ウ中「8,500円」を「8,300円」に改め、同条第3号ア中「7,760円」を「8,420円」に改め、同号ウ中「3,400円」を「3,320円」に改める。

第19条の3の次に次の1条を加える。

(未就学児の被保険者均等割額の減額)

第19条の4 当該年度において、納付義務者の属する世帯に6歳に達する日以後の最初の3月31日以前である被保険者（以下「未就学児」という。）がある場合における当該未就学児に係る当該年度分の被保険者均等割額（第19条の2に規定する金額を減額するものとした場合にあっては、その減額後の被保険者均等割額）は、当該被保険者均等割額から、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額を減額して得た額とする。

(1) 基礎賦課額に係る被保険者均等割額 次に掲げる世帯の区分に応じ、それぞれ未就学児1人について次に定める額

- ア 第19条の2第1号アに規定する金額を減額した世帯 6,315円
- イ 第19条の2第2号アに規定する金額を減額した世帯 10,525円
- ウ 第19条の2第3号アに規定する金額を減額した世帯 16,840円
- エ アからウまでに掲げる世帯以外の世帯 21,050円

(2) 後期高齢者支援金等賦課額に係る被保険者均等割額 次に掲げる世帯の区分に応じ、それぞれ未就学児1人について次に定める額

- ア 第19条の2第1号イに規定する金額を減額した世帯 1,980円
- イ 第19条の2第2号イに規定する金額を減額した世帯 3,300円
- ウ 第19条の2第3号イに規定する金額を減額した世帯 5,280円
- エ アからウまでに掲げる世帯以外の世帯 6,600円

付 則

(施行期日)

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の第14条の3、第15条の4、第15条の8、第15条の9、第15条の12、第15条の16、第16条の4、第19条、第19条の2及び第19条の4の規定は、令和4年度分の保険料から適用し、令和3年度分までの保険料については、なお従前の例による。